



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本管財株式会社

コード番号 9728 URL <http://www.nkanzai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福田 慎太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 原田 康弘

TEL 03-5290-5812

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	40,078	10.3	2,351	40.4	2,558	44.5	1,497	47.2
25年3月期第2四半期	36,338	0.2	1,674	△9.8	1,770	△10.8	1,017	△0.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,765百万円 (116.9%) 25年3月期第2四半期 813百万円 (△21.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	88.96	—
25年3月期第2四半期	60.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	49,274		29,771		57.0
25年3月期	45,330		28,313		58.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 28,098百万円 25年3月期 26,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,900	13.1	4,900	22.0	5,400	23.3	2,900	21.2	172.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	20,590,153 株	25年3月期	20,590,153 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,730,735 株	25年3月期	3,780,794 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	16,830,874 株	25年3月期2Q	16,928,333 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想に関しましては、本資料並びに本日公表いたしました「平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において修正しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1.(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の金融・財政政策に対する期待感から円安や株価の上昇など回復の兆しがみられるものの、新興国をはじめとする海外景気の下振れ懸念や円安による輸入原材料価格の高騰に伴う物価上昇などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

不動産関連サービス業界におきましては、オフィスや商業ビルの空室率にやや改善の兆しは見られるものの、契約先のコスト削減意識や業務対象物件の閉鎖・縮小により、引き続き厳しい経営環境で推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、引き続きビルメンテナンスの周辺業務の拡大を図るとともに、海外も含めたプロパティマネジメント事業、PFI事業、省エネルギー事業等への取り組みやグループ企業の強化など積極的な事業展開を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、新たに連結子会社となった株式会社エヌ・ジェイ・ケイ・ホールディング(同社の子会社3社を含む)の業績が寄与したことに加え、新規案件や工事関連業務の受注も堅調に推移し、400億78百万円(前年同四半期比10.3%増)となりました。

収益面におきましては、受託単価の伸び悩みによる影響はありましたが、仕入単価の見直しや時間管理の徹底を図り、管理コストの削減・抑制に努めたことにより、営業利益23億51百万円(前年同四半期比40.4%増)、経常利益25億58百万円(前年同四半期比44.5%増)、四半期純利益14億97百万円(前年同四半期比47.2%増)と前年同四半期を大幅に上回る結果となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(建物管理運営事業)

主たる業務であるビル管理業務及び保安警備の建物管理運営事業につきましては、前述の新規連結子会社の業績が寄与したことに加え、不動産関連サービスの受託が堅調であったことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は346億43百万円(前年同四半期比10.5%増)となりました。

収益面におきましても、受託単価の伸び悩み等の影響もありましたが、外注委託費等の見直しや管理コストの削減を図れたことにより、セグメント利益は36億1百万円(前年同四半期比21.3%増)となりました。

(環境施設管理事業)

上下水道処理施設等の公共施設管理を主体とする環境施設管理事業につきましては、ゴミ焼却施設やリサイクル施設管理を中心に既存物件の契約更改が概ね順調であったことに加え、一部の契約において、従来の運転管理業務の請負契約から施設全体の運営管理を行う包括契約に変更され、契約金額が増加したこともあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は42億20百万円(前年同四半期比9.7%増)となりました。

収益面におきましても、主要取引先である地方自治体の財政は依然として緊縮傾向にあるものの、新規立ち上げ費用の抑制や仕入価格の見直し、適正な人員配置を中心にコスト削減に努めました結果、セグメント利益は3億84百万円(前年同四半期比8.8%増)となりました。

(不動産ファンドマネジメント事業)

不動産ファンドの組成・資産運用を行うアセットマネジメント及び匿名組合への出資を主体とする不動産ファンドマネジメント事業につきましては、資産運用に伴うアセットマネジメント収入の安定した計上と資産売却に伴う収入が発生したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は5億30百万円(前年同四半期比132.4%増)となりました。

収益面におきましては、資産売却に伴う費用は増加したものの、経費の節減や業務の効率化に努めました結果、セグメント利益は74百万円(前年同四半期比54.4%増)となりました。

(その他の事業)

イベントの企画・運営、印刷、デザインを主体としたその他の事業は、各種イベントの規模縮小や取引先のコスト抑制の影響により臨時的イベント業務の受注が減少したため、当第2四半期連結累計期間の売上高は6億85百万円(前年同四半期比24.6%減)、セグメント損失は38百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、新規連結子会社の固定資産やのれんの増加等により、前連結会計年度末に比べ39億43百万円(8.7%増)増加して492億74百万円となりました。

負債は、借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ24億86百万円(14.6%増)増加して195億3百万円となりました。

純資産は、配当金の支払いや為替換算調整勘定等の減少に対し、四半期純利益の計上等により14億57百万円(5.1%増)増加して297億71百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.8ポイント減少し57.0%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は131億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億30百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は10億15百万円であり、前年同四半期に比べ4億44百万円収入が増加いたしました。

その主なものは、税金等調整前当期純利益が増加(前年同四半期比7億87百万円収入増)したことに加え、仕入債務の増加(前年同四半期比5億73百万円支出減)や法人税等の支払額の減少(前年同四半期比3億16百万円支出減)であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は6億78百万円であり、前年同四半期に比べ2億4百万円支出が増加いたしました。

その主なものは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出(前年同四半期比3億7百万円支出増)や貸付による支出(前年同四半期比2億95百万円支出増)であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は16億67百万円であり、前年同四半期に比べ7億2百万円支出が増加いたしました。

その主なものは、借入金の借入及び返済による純支出の増加(前年同四半期比11億25百万円支出増)であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社を取り巻く環境は、引き続き予断を許さない状況で推移することが予想されますが、当社グループといたしましては、さらなる業容拡大を目指すために平成25年6月4日に株式会社エヌ・ジェイ・ケイ・ホールディングの全株式を取得し、同社及び同社の子会社3社を連結子会社化いたしました。

第2四半期連結累計期間における同社を含むグループ各社の業績は堅調に推移しており、これを受けて、本日公表いたしました「平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、通期連結業績予想を修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動には該当いたしません。上記のとおり、株式会社エヌ・ジェイ・ケイ・ホールディングの株式を取得したため、同社及び同社の子会社である日本住宅管理株式会社、株式会社エヌ・ジェイ・ケイ・スタッフサービス及び株式会社日本住宅管理札幌を連結の範囲に含めております。

なお、同社の株式取得については、平成25年4月2日に議決権の50%を取得し、平成25年6月4日に残り50%の議決権を取得しているため、支配獲得日にかかるみなし取得日である平成25年6月30日までの期間については、持分法適用関連会社としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,787,733	13,457,291
受取手形及び売掛金	8,864,470	9,057,799
事業目的匿名組合出資金	301,440	288,315
貯蔵品	79,076	88,731
販売用不動産	1,582,211	1,477,756
未収還付法人税等	1,719	10,607
繰延税金資産	362,963	410,711
その他	856,627	1,387,720
貸倒引当金	△12,783	△15,206
流動資産合計	26,823,456	26,163,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,843,232	2,734,467
機械装置及び運搬具(純額)	45,735	61,339
工具、器具及び備品(純額)	254,225	305,436
土地	1,086,763	1,823,031
リース資産(純額)	553,529	589,593
建設仮勘定	267,266	—
有形固定資産合計	4,050,750	5,513,866
無形固定資産		
電話加入権	34,790	45,424
ソフトウェア	310,202	221,928
のれん	16,490	2,361,691
リース資産	28,753	27,306
その他	—	16,667
無形固定資産合計	390,235	2,673,016
投資その他の資産		
投資有価証券	10,714,843	11,441,282
長期貸付金	530,108	554,720
長期前払費用	10,052	5,620
敷金及び保証金	1,462,445	1,651,645
会員権	410,108	427,070
繰延税金資産	183,193	216,233
その他	886,967	816,542
貸倒引当金	△131,237	△189,004
投資その他の資産合計	14,066,479	14,924,108
固定資産合計	18,507,464	23,110,990
資産合計	45,330,920	49,274,714

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,630,458	4,239,718
短期借入金	—	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	167,904	527,404
1年内返済予定の長期ノンリコースローン	855,600	499,800
リース債務	199,519	217,913
未払費用	2,054,411	2,458,533
未払法人税等	665,746	972,139
未払消費税等	326,478	348,456
預り金	468,042	465,677
前受金	48,440	145,769
賞与引当金	595,336	649,494
役員賞与引当金	75,795	44,017
資産除去債務	—	47,727
その他	81,828	55,953
流動負債合計	10,169,557	11,772,600
固定負債		
長期借入金	4,946,500	5,407,500
リース債務	392,973	405,579
繰延税金負債	50,850	241,885
退職給付引当金	324,346	466,698
役員退職慰労引当金	481,849	581,720
長期預り保証金	372,162	380,645
資産除去債務	225,570	186,971
持分法適用に伴う負債	30,992	36,655
その他	22,336	23,196
固定負債合計	6,847,578	7,730,849
負債合計	17,017,135	19,503,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	498,800	498,800
利益剰余金	27,960,384	29,126,871
自己株式	△5,515,802	△5,442,823
株主資本合計	25,943,382	27,182,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	728,296	1,258,371
為替換算調整勘定	—	△342,522
その他の包括利益累計額合計	728,296	915,849
少数株主持分	1,642,107	1,672,568
純資産合計	28,313,785	29,771,265
負債純資産合計	45,330,920	49,274,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	36,338,524	40,078,907
売上原価	29,517,960	32,241,990
売上総利益	6,820,564	7,836,917
販売費及び一般管理費		
販売費	83,696	93,183
人件費	2,787,908	2,963,805
賞与引当金繰入額	220,310	271,814
役員賞与引当金繰入額	41,783	41,367
役員退職慰労引当金繰入額	46,914	54,142
退職給付費用	100,034	90,702
旅費交通費及び通信費	427,783	437,562
消耗品費	166,916	193,404
賃借料	376,319	375,526
保険料	90,574	117,121
減価償却費	212,638	221,595
租税公課	64,270	54,900
事業税	40,868	43,972
貸倒引当金繰入額	△2,415	△2,555
のれん償却額	11,127	40,873
その他	477,098	487,571
販売費及び一般管理費合計	5,145,823	5,484,982
営業利益	1,674,741	2,351,935
営業外収益		
受取利息及び配当金	91,219	104,417
受取賃貸料	20,369	19,608
持分法による投資利益	—	116,503
為替差益	—	74,250
その他	54,250	49,582
営業外収益合計	165,838	364,360
営業外費用		
支払利息	17,302	96,798
賃貸費用	24,683	25,300
持分法による投資損失	6,223	—
固定資産除売却損	3,336	10,988
その他	19,000	24,853
営業外費用合計	70,544	157,939
経常利益	1,770,035	2,558,356

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
特別損失		
投資有価証券評価損	650	—
会員権評価損	—	1,640
貸倒引当金繰入額	220	454
特別損失合計	870	2,094
税金等調整前四半期純利益	1,769,165	2,556,262
法人税、住民税及び事業税	715,010	1,074,011
法人税等調整額	△7,968	△95,423
法人税等合計	707,042	978,588
少数株主損益調整前四半期純利益	1,062,123	1,577,674
少数株主利益	44,885	80,376
四半期純利益	1,017,238	1,497,298

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,062,123	1,577,674
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△248,274	530,159
為替換算調整勘定	—	△342,522
その他の包括利益合計	△248,274	187,637
四半期包括利益	813,849	1,765,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	769,108	1,684,850
少数株主に係る四半期包括利益	44,741	80,461

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,769,165	2,556,262
減価償却費	305,392	330,761
のれん償却額	11,127	40,873
賞与引当金の増減額(△は減少)	△48,725	328
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,696	△34,428
退職給付引当金の増減額(△は減少)	65,543	88,258
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	36,064	31,142
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,677	△2,321
持分法による投資損益(△は益)	6,223	△116,503
受取利息及び受取配当金	△91,219	△104,417
支払利息	17,302	96,798
為替差損益(△は益)	—	△74,250
固定資産除売却損益(△は益)	3,336	10,988
投資有価証券評価損益(△は益)	650	—
売上債権の増減額(△は増加)	867,221	168,210
事業目的匿名組合出資金の増減額(△は増加)	△109,748	11,627
たな卸資産の増減額(△は増加)	57,659	107,090
その他の資産の増減額(△は増加)	△109,830	103,815
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,276,724	△703,257
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,791	△11,371
その他の負債の増減額(△は減少)	149,491	△678,379
会員権評価損	—	1,640
その他	443	△7,363
小計	1,619,788	1,815,503
利息及び配当金の受取額	94,339	106,305
利息の支払額	△17,302	△96,798
法人税等の支払額	△1,125,456	△809,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	571,369	1,015,803

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300,000	△300,000
定期預金の払戻による収入	300,000	500,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△184,651	△89,267
有形及び無形固定資産の売却による収入	39,974	573
投資有価証券の取得による支出	△637	△194,157
投資有価証券の売却による収入	—	54,974
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△307,922
貸付けによる支出	△4,503	△300,400
貸付金の回収による収入	28,109	32,167
賃借不動産保証金・敷金の増減額(△は増加)	△277,278	△147,377
預り保証金の増減額(△は減少)	△46,258	△12,481
その他	△28,979	△14,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△474,223	△678,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	1,400,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△880,000
長期借入れによる収入	—	3,350,000
長期借入金の返済による支出	△83,000	△4,760,918
長期ノンリコースローンの返済による支出	△38,700	△355,800
リース債務の返済による支出	△90,174	△113,750
自己株式の処分による収入	78,395	78,289
自己株式の取得による支出	△441,386	△66
配当金の支払額	△339,733	△335,309
少数株主への配当金の支払額	△50,000	△50,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△964,598	△1,667,554
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△867,452	△1,330,442
現金及び現金同等物の期首残高	13,182,900	14,472,733
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,315,448	13,142,291

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	建物管理 運営事業 (千円)	環境施設 管理事業 (千円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	31,355,316	3,846,289	228,121	908,798	36,338,524	—	36,338,524
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	31,355,316	3,846,289	228,121	908,798	36,338,524	—	36,338,524
セグメント利益 又は損失(△)	2,968,638	353,208	47,974	△21,722	3,348,098	△1,673,357	1,674,741

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,673,357千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	建物管理 運営事業 (千円)	環境施設 管理事業 (千円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	34,643,109	4,220,197	530,128	685,473	40,078,907	—	40,078,907
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	34,643,109	4,220,197	530,128	685,473	40,078,907	—	40,078,907
セグメント利益 又は損失(△)	3,601,528	384,336	74,084	△38,764	4,021,184	△1,669,249	2,351,935

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,669,249千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの資産が著しく変動しております。その概要は以下のとおりであります。

「建物管理運営事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に株式会社エヌ・ジェイ・ケイ・ホールディングの全株式を取得し、同社及び同社の子会社3社を連結子会社としたことにより、セグメント資産が2,582,929千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建物管理運営事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に株式会社エヌ・ジェイ・ケイ・ホールディングの全株式を取得し、同社及び同社の子会社3社を連結子会社としたことにより、のれんが増加しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては2,356,247千円であります。